



Waste Wise Education 廃棄物教育活動案の募集について

国連人間居住計画（ハビタット）は社会的、環境的に持続可能なまちづくりを推進し、すべての人々が適切な住まいを得ることができる世界の実現を目指している国連機関です。とりわけ、持続可能な開発目標 11 のターゲット 11.6 の管理機関でもあります。

（SDG11 ターゲット 11.6：2030 年までに、大気の状態および一般並びにその他の廃棄物の管理に特別な注意を払うことによるものを含め、都市の一人あたりの環境上の悪影響を軽減する。）

地方自治体の廃棄物管理問題に取り組むため、ハビタットでは 2 つのイニシアチブを立ち上げました。一つはアフリカ地域に特化した「アフリカのきれいな街プラットフォーム（African Clean Cities Platform: ACCP）」であり、もう一つは世界的な「Waste Wise Cities Campaign (WWCC)」です。これらは廃棄物管理において 4 つの主要な取り組み（廃棄物データ&モニタリング、知見共有、アドボカシー&教育、プロジェクトの資金及び信頼性のサポート）に焦点を当てています。

日々の生活の中で廃棄物や資源を適切に管理するには、人々の行動変容を促すことが大切であり、そのためには教育が不可欠です。特に子どもは、家族に影響を与えると同時に未来の世代であるため、5R（リシンク（考え直す）、リフューズ（断る）、リデュース（減らす）、リユース（再利用する）、リサイクル（再生利用する））文化を育むためにはとても重要な存在です。そこで ACCP と WWCC は、廃棄物管理教育に取り組んでおり、就学前教育、小・中・高等学校、及び大学などの高等教育機関において廃棄物リテラシーの習得ができる教育活動を取り入れようとしています。

上記を踏まえ、**ハビタットでは、世界の様々な教育現場で実践可能であり革新的な廃棄物教育活動や成功事例を募集しています。**応募されたプログラムは、就学前・小・中・高等学校向けに 10 プログラム、高等教育機関向けに 10 プログラム、合計 20 のプログラムが選出され、ACCP や WWCC のネットワークを通し、実際に世界の様々な教育現場で各プログラムが実践されます。

■応募について

<対象者>

廃棄物または資源管理に焦点を当てた教育活動に興味がある、または既に従事しているすべての個人、学校、団体、企業、NGO/NPO、公的組織等。

<申請内容>

子どもや青少年の行動変容を促す効果的かつ革新的な教育プログラム、授業、課外活動、教材など。ただし、5R 及びその他廃棄物・資源管理を取り扱う内容であること。

<意義>

廃棄物教育は知識習得のみに制限されるべきではなく、体験型学習を通して体系的に学んでいくものである。加えて、課外授業を含め教科横断的に教育カリキュラムに組み込まれるものであることから、社会科や理科教育のみに制限されるべきではないとする。同時に、5R教育は一度きりの授業やイベントで終わるものではなく、継続的に繰り返し行われることで段階的に目的をクリアしながら一貫した実践が必要となる。例えば、

- (1) 興味を持つ 例：ポイ捨てに気づき、関心を持つ
- (2) 理解する 例：ポイ捨てされたゴミがどこに行き、どう処理されるのかを知る
- (3) 行動する 例：ゴミはゴミ箱へ、また、ゴミの分別を実践する

<選出結果の発表>

最も優れたプログラムとしてベスト20が選出され、ACCP及びWWCCのウェブサイトやSNS上で発表される。またリーダーワードとしてリーフレットに編集され、出版される。ベスト20に選出されなくとも効果的かつ革新的であると判断されたプログラムは関連ホームページ上にリストアップされ、ACCP及びWWCCのネットワークにシェアされる。

<選考基準>

- 革新的（イノベティブ）であるか
- 効果的な学習を促す内容か
- 学校生活や日々の生活に関係する内容か
- 様々な教育現場での実践が可能か、またスケールアップできる内容か
- 教育的・環境的側面が洗練されているか、または先進的か（基準の項目ではないが、別途評価する。）

<応募方法>

応募用紙（別紙：Application Form _ Japanese）を wastewisecities@un.org まで送信下さい。

<タイムライン>

- 締め切り： 2020年5月15日（金）
- 選出及びご連絡： 2020年5月～6月
- 結果発表及び公開：2020年6月～7月

<その他>

ご質問・ご不明点等ございましたら、以下のアドレスまでご連絡下さい。

Shiho Jinno (Ms.) : jinno.shiho@un.org